



(第 18 図)

(12) 官許飛驒国中全図 (第 18 図)

年代 江戸時代末

寸法 60×80(折りたたんで 20×15)

所蔵 国立公文書館(177—0853)

この図は版本で、高山陣屋の御用絵師松村梅幸の画による。木版多色刷りで、河川が青色、街道が茶色、在所が楕円形で囲われ郡ごとに色分けしてある。吉城郡が茶色、大野郡が白色、益田郡が薄茶色である。隣国への街道は、高山からの里程と行先が書かれている。

欄外に国幣小社の水無神社、郷社の槻本神社ほか 16 社と、寺、瀑布(滝)、温泉、舟渡、籠渡が記されている。

集落名がはっきりと判読できる飛驒全体の国絵図で、版本として多く流布している図である。

※掲載されている情報(文章、写真など)は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。